

前田建設工業株式会社

2019年3月期 決算説明

2019年 5月14日

代表取締役社長 前田 操治

- 中長期経営戦略について
- 業績について
- 事業別ハイライト
 - 【 建築・土木・インフラ運営（脱請負） 】
- トピックス

中長期経営戦略について

Medium to Long-term Business Plan

次の100年に向けた永続的な成長を実現するための「**新たなMAEDAの企業像**」を策定
この新たな挑戦を着実に実行するため、次の10年「**NEXT10**」で目指す姿を「**中長期経営計画**」
として描くと共に、今後3か年の**中期経営計画「Change 1st Stage**」を策定

NEXT100

【次の100年で目指す姿】



中長期経営計画 『NEXT10』

【次の10年で目指す姿】



中期経営計画 『Change 1st Stage』

【今後3か年の戦略を立案】

次の100年に向けた将来像

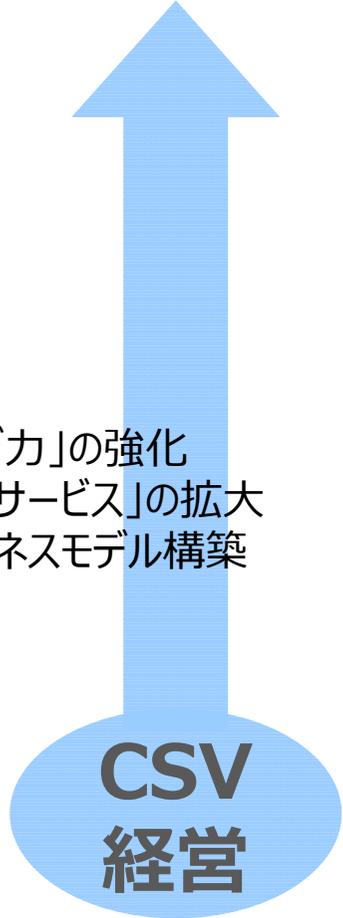
- ・永続的な成長
- ・安定かつ高収益体質
- ・すべてのステークホルダーからの信頼
- ・世界中の社会課題の解決

総合インフラサービス企業

- ・請負事業を軸とした「エンジニアリング力」の強化
- ・脱請負事業を軸とした「新たな建設サービス」の拡大
- ・請負と脱請負を融合した新たなビジネスモデル構築

“Change!” に向けた3つの戦略

- 【戦略1】生産性改革
- 【戦略2】脱請負事業の全社的推進
- 【戦略3】体質改善



中期経営計画 経営目標数値

(最終年度 2022年3月期)

【
連
結
】

売上高	5,200億円
営業利益	380億 (7.3%)

【
個
別
】

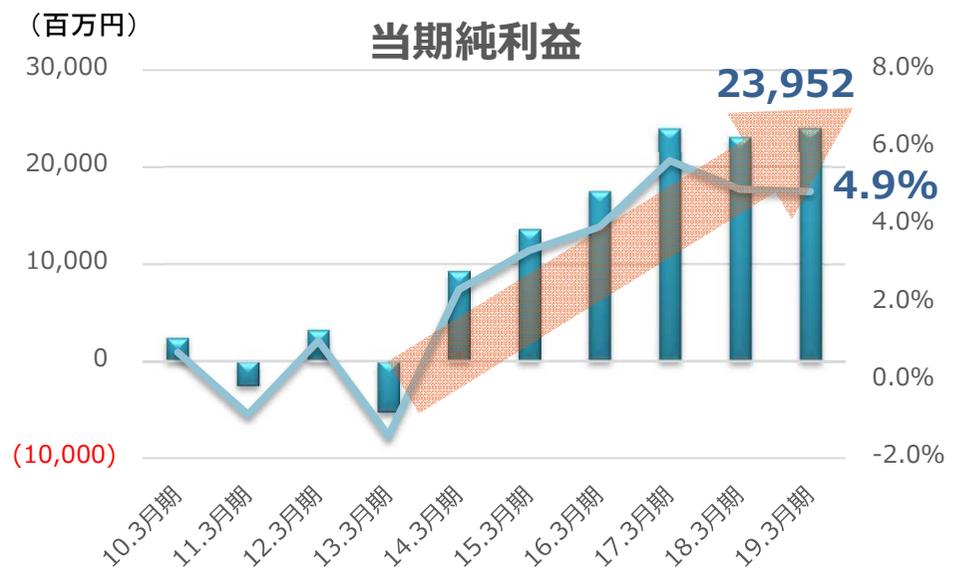
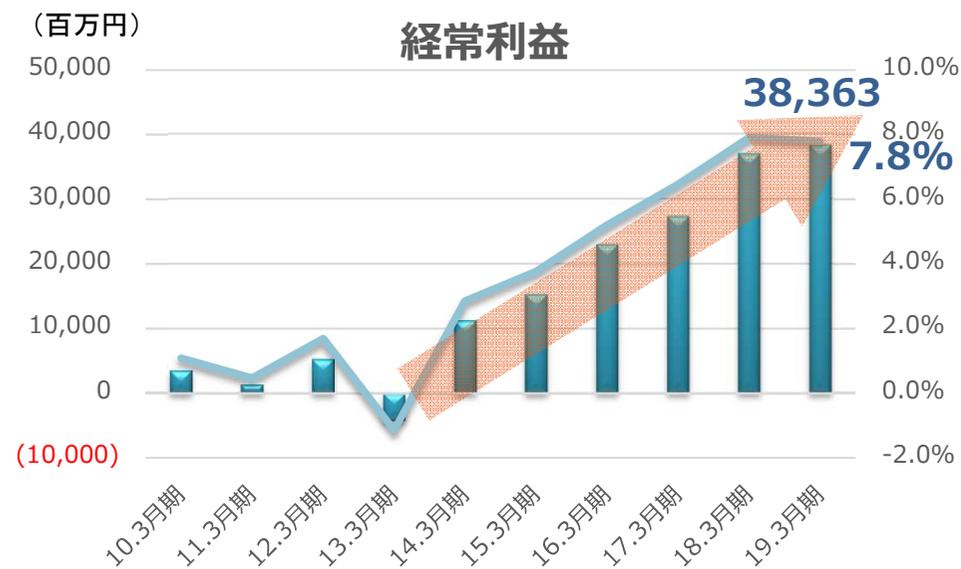
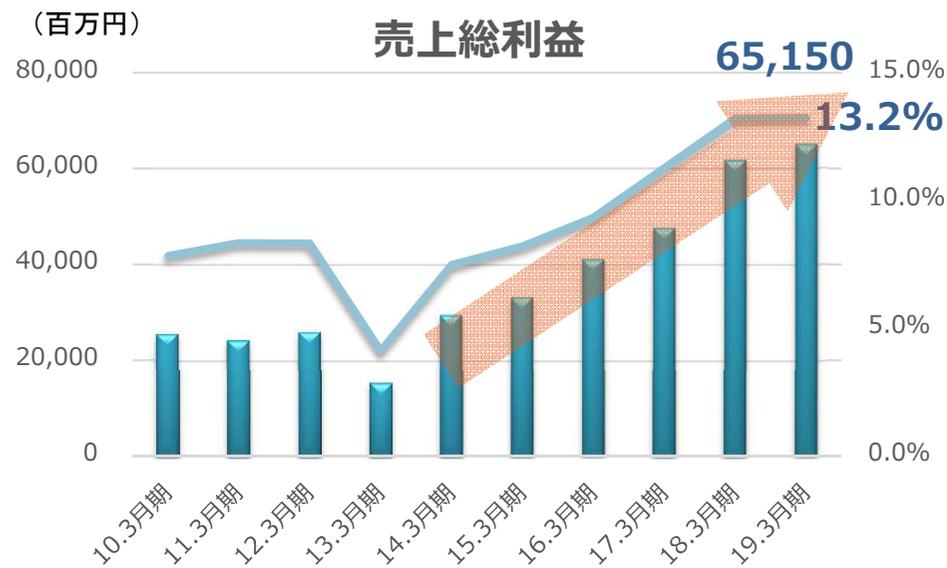
売上高	4,050億円
営業利益	305億 (7.5%)

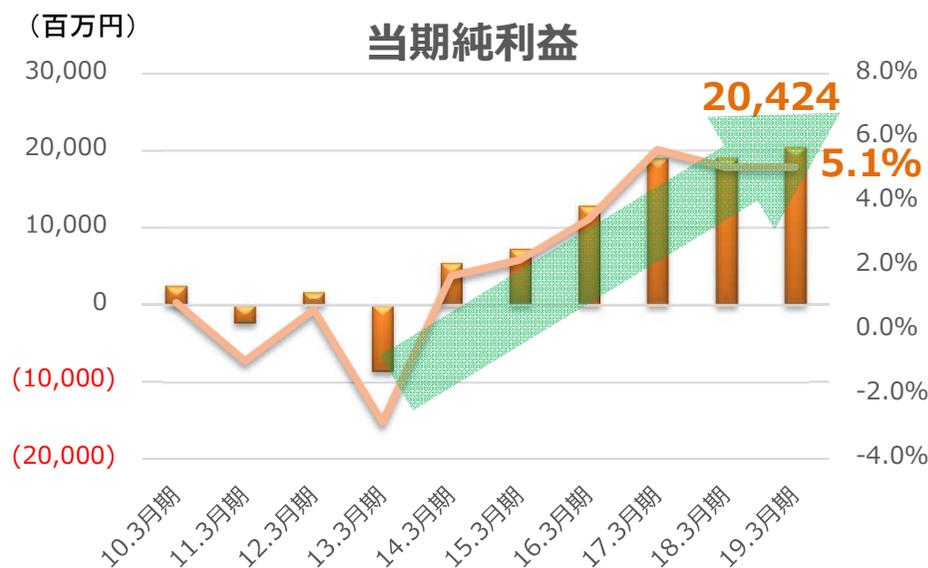
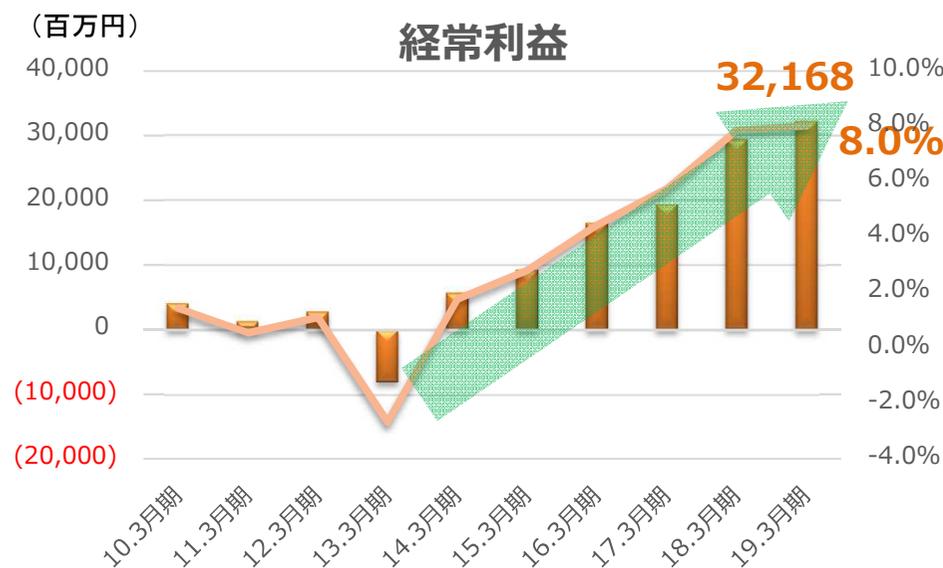
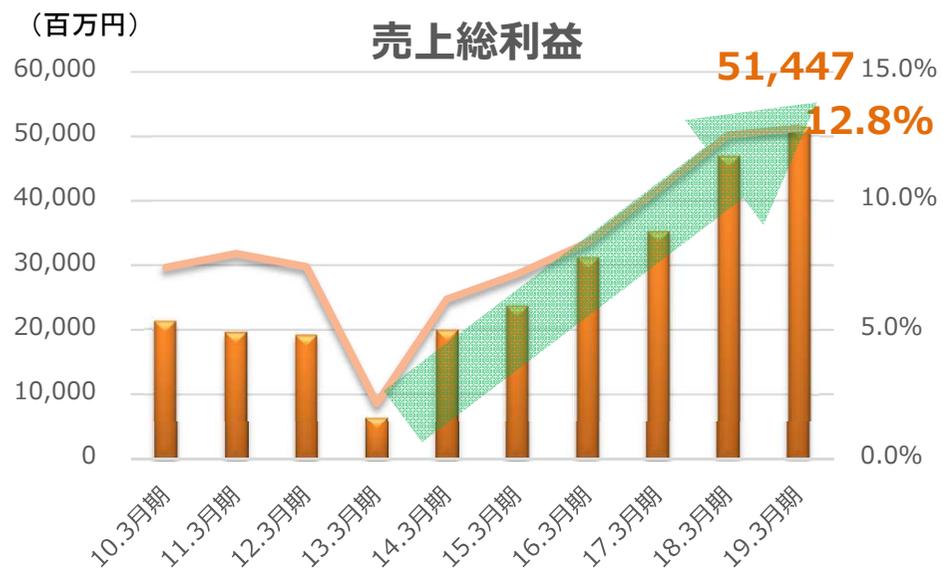
業績について

Financial Summary

最高益更新

連結	◆売上総利益 : 2期連続 ◆営業利益 : 4期連続 ◆経常利益 : 5期連続 ◆当期純利益 : 2017年3月期以来
個別	◆売上総利益 : 1995年3月期以来 ◆営業利益 : 3期連続 ◆経常利益 : 2期連続 ◆当期純利益 : 4期連続





(単位：億円)

	2018.3月期		2019.3月期				前期比 (b)-(a)	2020.3月期			
	通期実績		修正発表(2/8)		通期実績			第2四半期見込		通期見込	
	(a)	(%)		(%)	(b)	(%)			(%)		(%)
売上高	4,677	100	4,870	100	4,921	100	244	2,390	100	4,750	100
売上総利益	618	13.2	619	12.7	652	13.2	34	297	12.4	613	12.9
一般管理費	264	5.6	294	6.0	292	5.9	28	149	6.2	303	6.4
営業利益	354	7.6	325	6.7	359	7.3	5	148	6.2	310	6.5
経常利益	370	7.9	345	7.1	384	7.8	14	156	6.5	328	6.9
親会社株主に帰属 する当期純利益	231	4.9	228	4.7	240	4.9	9	100	4.2	218	4.6

備考：決算短信の数字(百万円)を(億円)に四捨五入した数値を記入

セグメント別売上高・売上総利益の内訳（連結）

（単位：億円）

売上高	2018.3月期		2019.3月期		2020.3月期	
	実績	(%)	実績	(%)	見込	(%)
建築	2,707	57.9	2,872	58.4	2,655	55.9
土木	1,391	29.7	1,491	30.3	1,500	31.6
製造	380	8.1	365	7.4	382	8.0
インフラ運営	166	3.6	178	3.6	198	4.2
その他	34	0.7	16	0.3	15	0.3
合計	4,677	100	4,921	100	4,750	100

売上総利益	2018.3月期		2019.3月期		2020.3月期	
	実績	(%)	実績	(%)	見込	(%)
建築	311	11.5	287	10.0	272	10.2
土木	184	13.2	245	16.4	206	13.7
製造	71	18.6	68	18.6	69	18.1
インフラ運営	44	26.6	44	24.5	58	29.3
その他	8	24.8	8	53.4	8	53.3
合計	618	13.2	652	13.2	613	12.9

備考：決算短信の数字(百万円)を(億円)に四捨五入した数値を記入

主なグループ会社の業績推移と見込

〔連結子会社〕

(単位：百万円)

	(株)前田製作所			(株)エフビーエス・ミヤマ			フジミ工研(株)		
	18.3期	19.3期	20.3期見込	18.3期	19.3期	20.3期見込	18.3期	19.3期	20.3期見込
売上高	34,668	34,392	34,500	21,692	20,844	24,400	8,766	8,567	7,600
営業利益	1,728	1,513	1,450	1,531	1,267	1,330	589	543	360
経常利益	1,825	1,617	1,530	1,565	1,283	1,356	604	557	370
当期純利益	1,207	866	1,070	1,154	822	867	504	450	315

	(株) J M			愛知道路コンセッション(株)※		
	18.3期	19.3期	20.3期見込	18.3期	19.3期	20.3期見込
売上高	26,669	30,131	33,000	15,660	16,329	16,503
営業利益	580	488	600	3,625	3,289	3,352
経常利益	586	500	611	1,971	1,678	1,844
当期純利益	382	324	378	1,816	1,529	1,679

※ 愛知道路コンセッション(株)には匿名組合愛知道路コンセッションを含む。

〔持分法適用会社〕

(単位：百万円)

	前田道路(株)			東洋建設(株)			光が丘興産(株)		
	18.3期	19.3期	20.3期見込	18.3期	19.3期	20.3期見込	18.3期	19.3期	20.3期見込
売上高	222,166	211,347	210,000	158,176	148,759	165,000	50,434	55,606	51,000
営業利益	22,682	17,102	17,200	9,661	7,039	8,000	607	805	550
経常利益	23,042	16,698	17,400	9,134	7,146	7,600	933	1,196	1,025
当期純利益	8,818	11,066	11,500	6,280	4,879	5,000	262	735	750

(単位：億円)

	2018.3月期		2019.3月期				前期比 (b)-(a)	2020.3月期			
	通期実績		修正発表(2/8)		通期実績			第2四半期見込		通期見込	
	(a)	(%)		(%)	(b)	(%)			(%)		(%)
売上高	3,742	100	4,000	100	4,013	100	271	1,920	100	3,710	100
売上総利益	470	12.5	485	12.1	514	12.8	44	227	11.8	460	12.4
一般管理費	191	5.1	215	5.4	216	5.4	25	108	5.6	220	5.9
営業利益	279	7.4	270	6.8	298	7.4	19	119	6.2	240	6.5
経常利益	294	7.9	290	7.3	322	8.0	28	134	7.0	254	6.8
当期純利益	190	5.1	200	5.0	204	5.1	14	93	4.8	177	4.8

備考：決算短信の数字(百万円)を(億円)に四捨五入した数値を記入

セグメント別 完工高・完工利益の内訳（個別）

（単位：億円） 13

	2018.3月期		2019.3月期				2020.3月期				
	実績	(%)	修正発表 (2/8)	(%)	実績	(%)	第2四半期 見込	(%)	通期見込	(%)	
完工高	3,742	100	4,000	100	4,013	100	1,920	100	3,710	100	
建築事業	国内	2,251	60.1	2,455	61.4	2,422	60.3	1,071	55.8	2,135	57.5
	海外	39	1.0	30	0.8	30	0.8	25	1.3	50	1.3
	建築事業 計	2,290	61.2	2,485	62.1	2,452	61.1	1,096	57.1	2,185	58.9
土木事業	国内	1,329	35.5	1,460	36.5	1,511	37.7	792	41.3	1,450	39.1
	海外	81	2.2	30	0.8	24	0.6	18	0.9	38	1.0
	土木事業 計	1,410	37.7	1,490	37.3	1,535	38.2	810	42.2	1,488	40.1
インフラ運営事業	9	0.2	10	0.3	10	0.2	7	0.4	22	0.6	
不動産事業	34	0.9	15	0.4	16	0.4	7	0.4	15	0.4	
完工利益	470	12.5	485	12.1	514	12.8	227	11.8	460	12.4	
建築事業	国内	269	12.0	254	10.3	250	10.3	114	10.6	229	10.7
	海外	2	5.5	3	10.0	3	11.1	2	8.0	3	6.0
	建築事業 計	271	11.8	257	10.3	253	10.3	116	10.6	232	10.6
土木事業	国内	213	16.0	192	13.2	225	14.9	90	11.4	182	12.6
	海外	▲31	▲38.8	18	60.0	18	75.0	10	55.6	16	42.1
	土木事業 計	181	12.9	210	14.1	243	15.8	100	12.3	198	13.3
インフラ運営事業	9	99.7	10	100	10	99.8	7	100	22	100	
不動産事業	8	24.6	8	53.3	8	52.9	4	57.1	8	53.3	

備考：決算短信の数字(百万円)を(億円)に四捨五入した数値を記入

受注の状況（個別）

（単位：億円） 14

		2018.3月期 実績	2019.3月期		2020.3月期	
			修正発表(2/8)	実績	第2四半期見込	通期見込
建築事業	国内	2,187	2,140	2,410	1,180	2,300
	官公庁	127	270	355	150	300
	民間	2,060	1,870	2,056	1,030	2,000
	海外	32	60	61	20	50
	建築事業 計	2,220	2,200	2,472	1,200	2,350
土木事業	国内	1,447	1,690	1,777	500	1,400
	官公庁	868	890	957	230	850
	民間	579	800	820	270	550
	海外	29	10	8	20	50
	土木事業 計	1,476	1,700	1,784	520	1,450
インフラ運営事業		9	-	10	-	-
不動産事業		34	-	14	-	-
合計	国内	3,634	3,830	4,187	1,680	3,700
	官庁	995	1,160	1,312	380	1,150
	民間	2,639	2,670	2,875	1,300	2,550
	海外	62	70	69	40	100
	インフラ運営事業	9	-	10	-	-
	不動産事業	34	-	14	-	-
	総計	3,738	3,900	4,281	1,720	3,800

備考：決算短信の数字(百万円)を(億円)に四捨五入した数値を記入

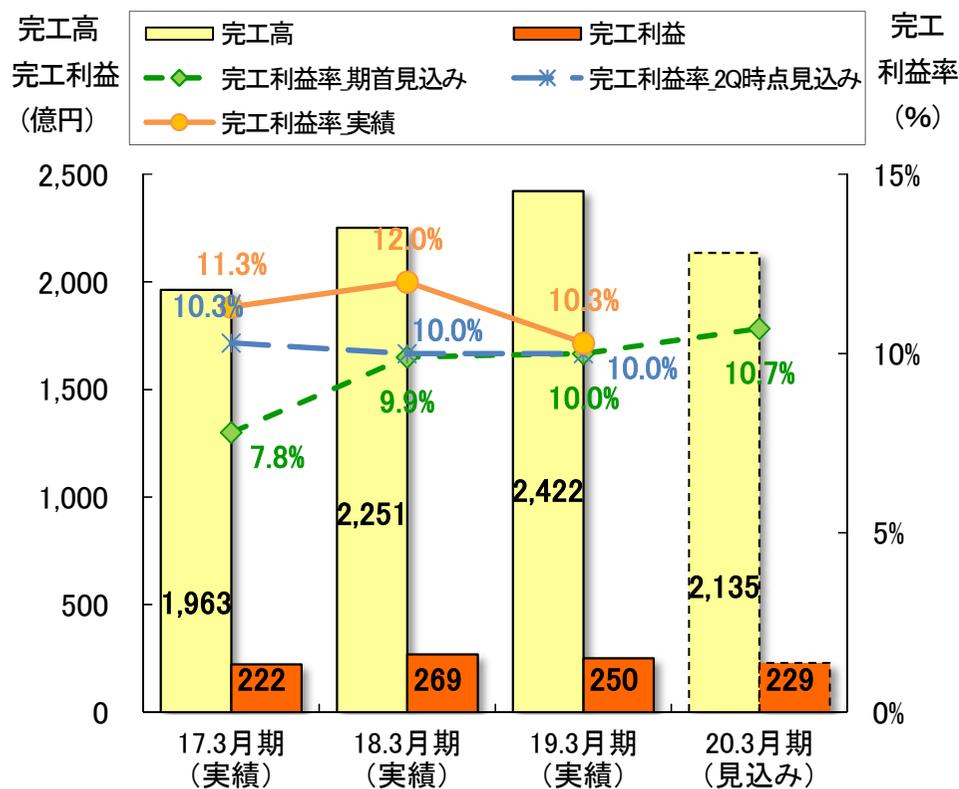
事業別ハイライト

Latest Highlights by Segments

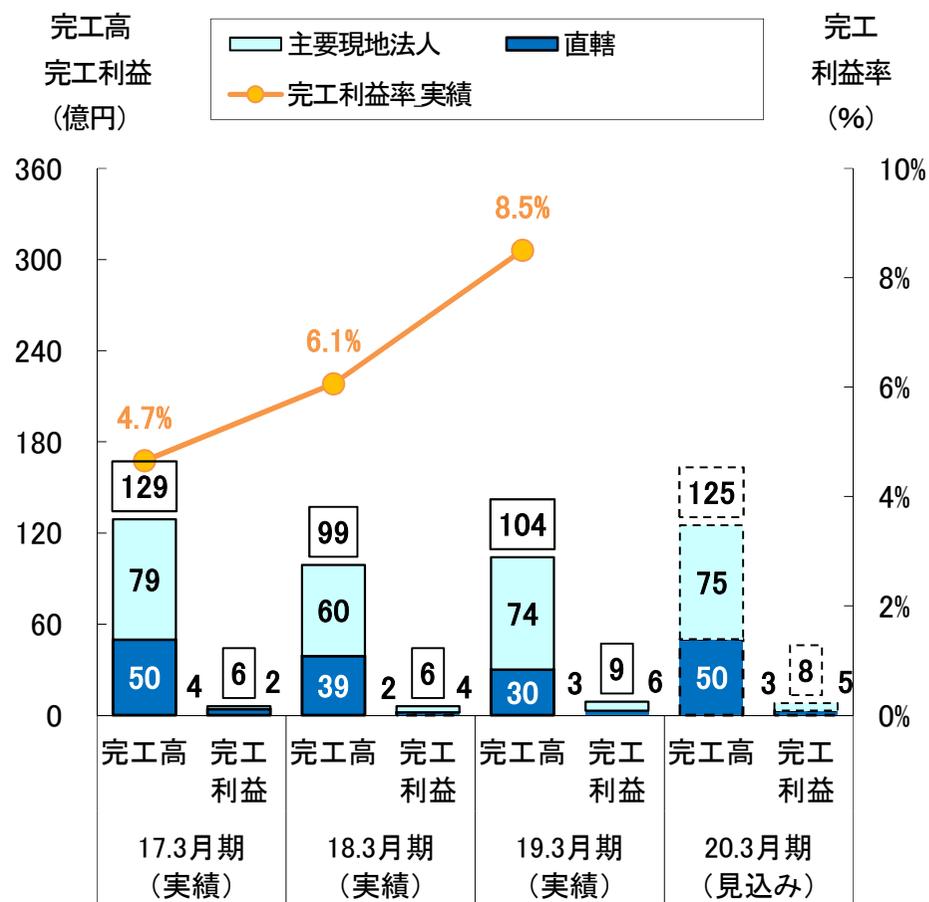
建築事業

- 工期厳守の対応費用が増加したため利益率が伸び悩む（19.3月期）
- 大型工事の上流からのつくり込みと原価低減活動による利益率の向上（20.3月期）

国内

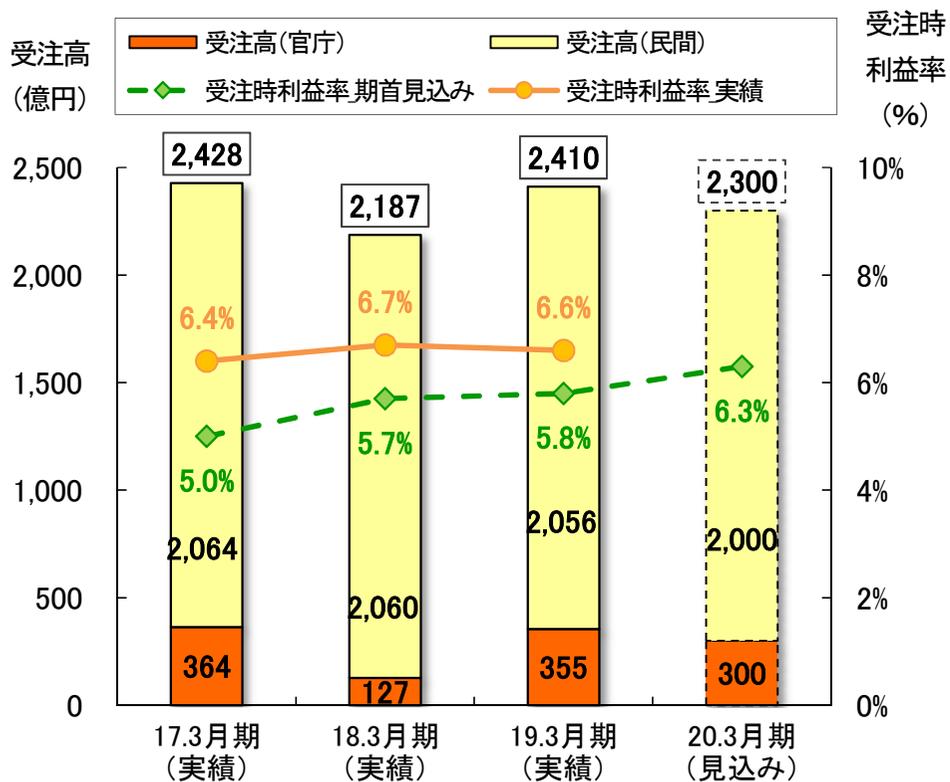


海外

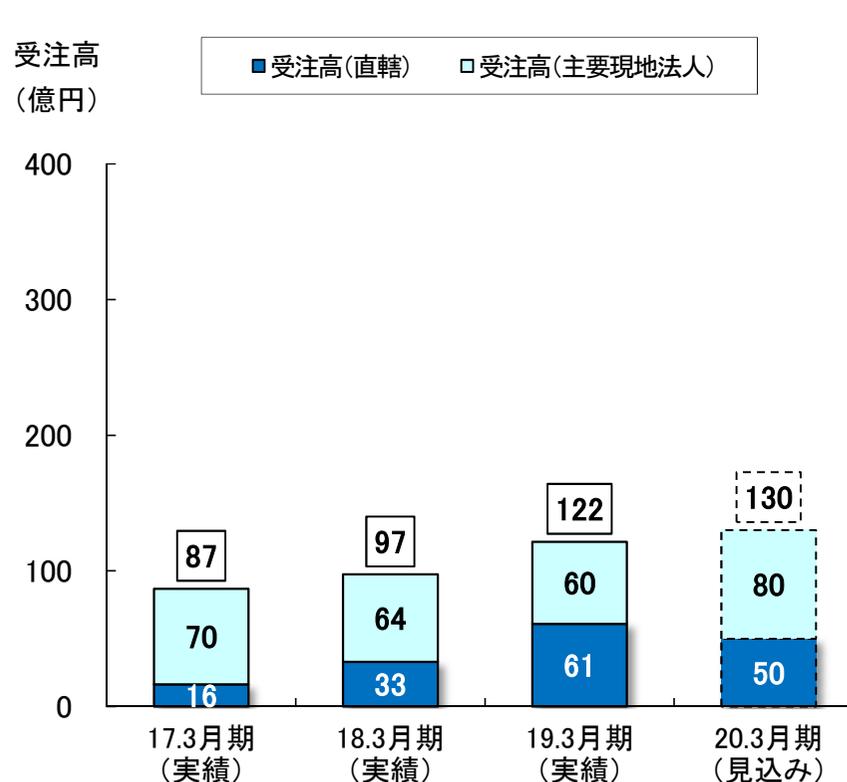


- 施工力を調整しつつ、計画的な受注活動を実施（19.3月期）
- 再開発案件など上流でつくり込みを行い、受注時利益率の向上を図る（20.3月期）

国内

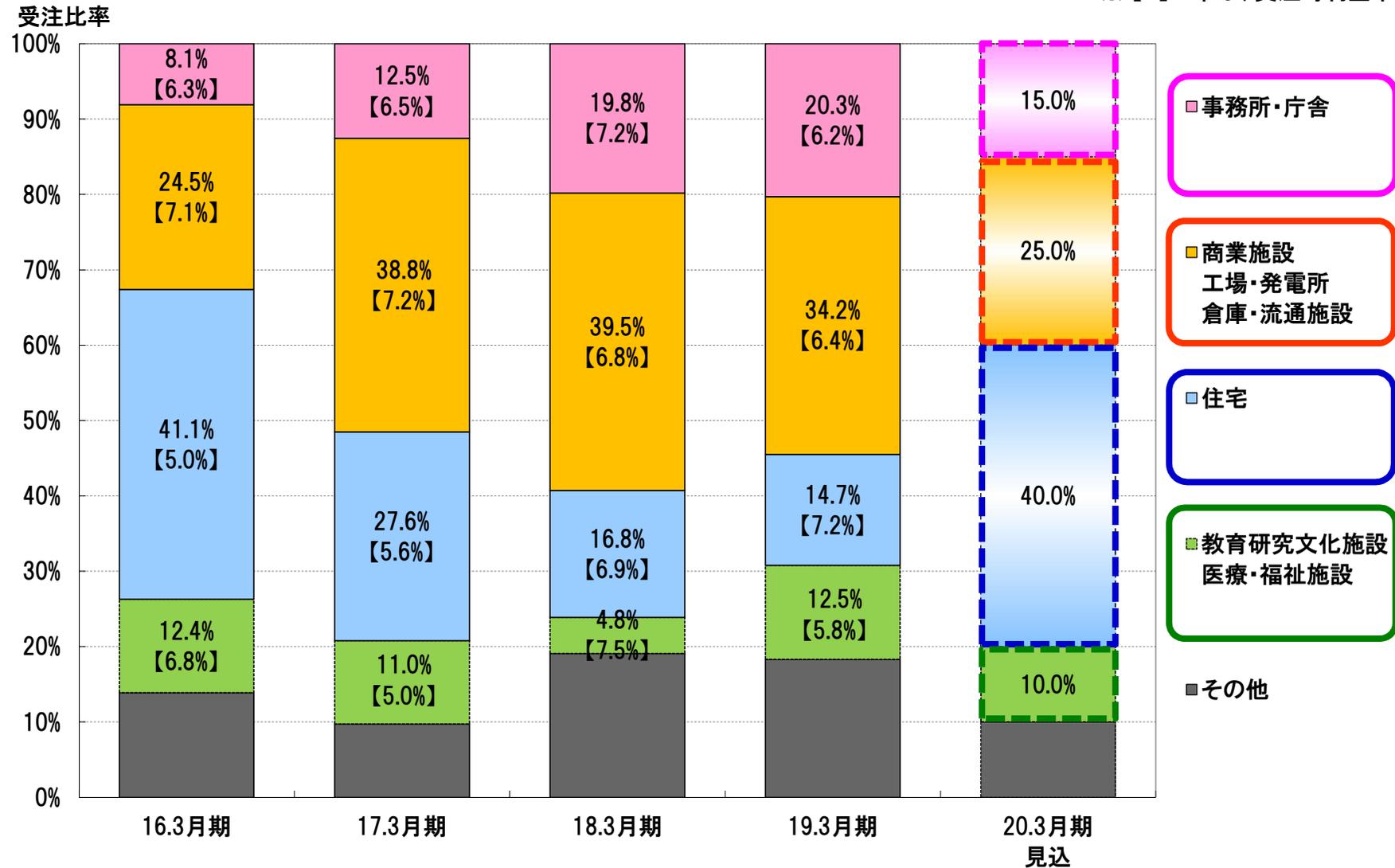


海外



- 事務所・工場の大型工事の受注が好調（19.3月期）
- 大型再開発により住宅比率が上昇するが、幅広い用途の受注を目指す（20.3月期）

※【 】の中は、受注時利益率

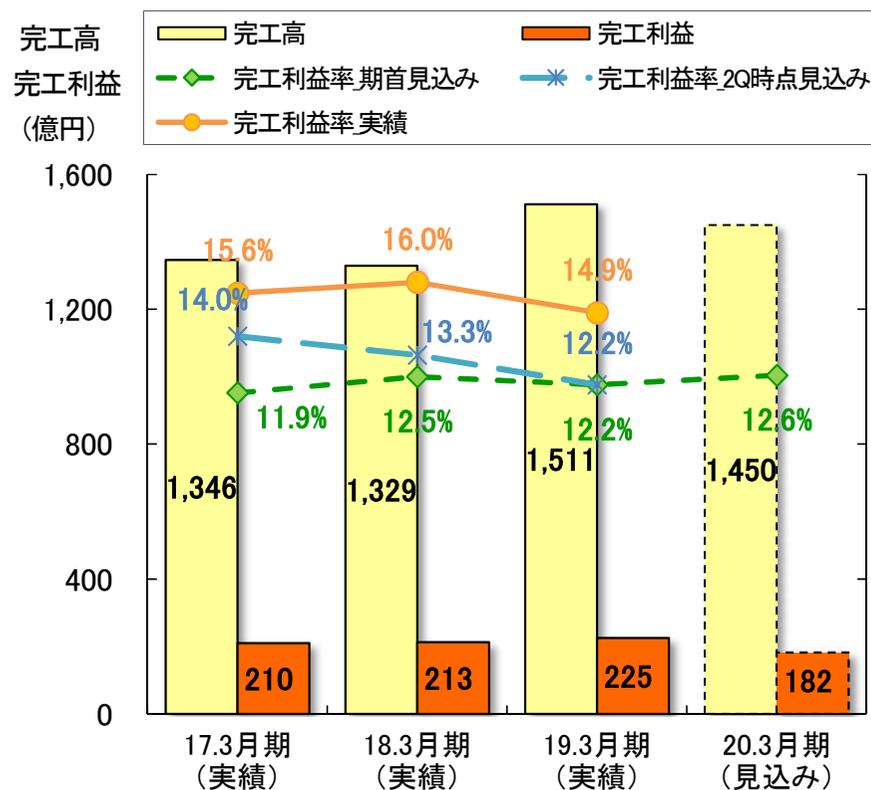


土木事業

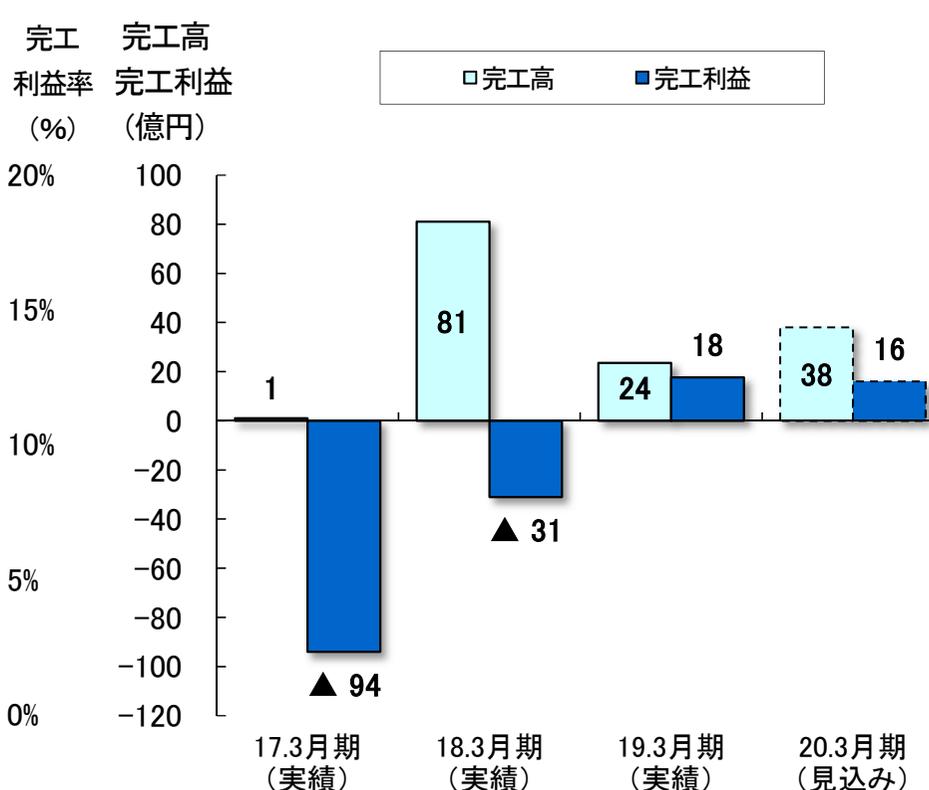
【国内】 ■ 設計変更獲得及び出来高進捗増により完工高、利益共に公表値を上回る(19.3月期)
 ■ 重点管理による出来高計上、設計変更獲得、利益率向上に注力(20.3月期)

【海外】 ■ 設計変更獲得、係争解決等により収益改善
 ■ 手持ち工事の減少により完工高は減少(19.3月期)
 ■ 未完係争案件の解決及び手持ち工事の設計変更獲得等により収益改善を図る
 (20.3月期)

国内



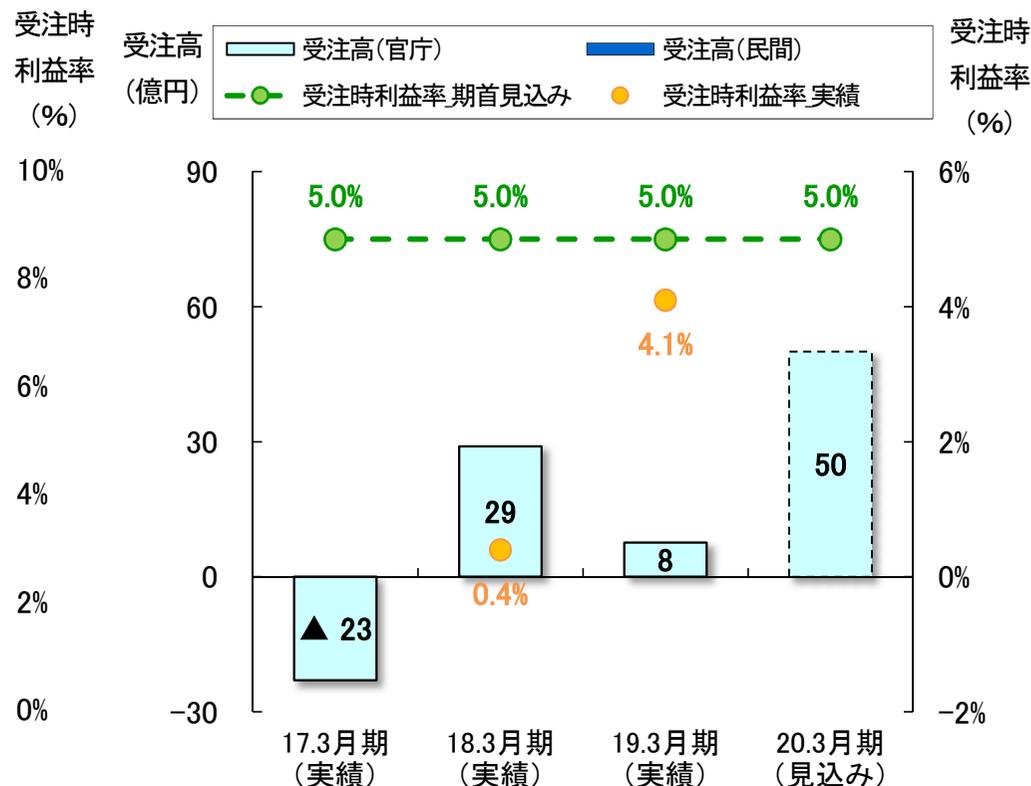
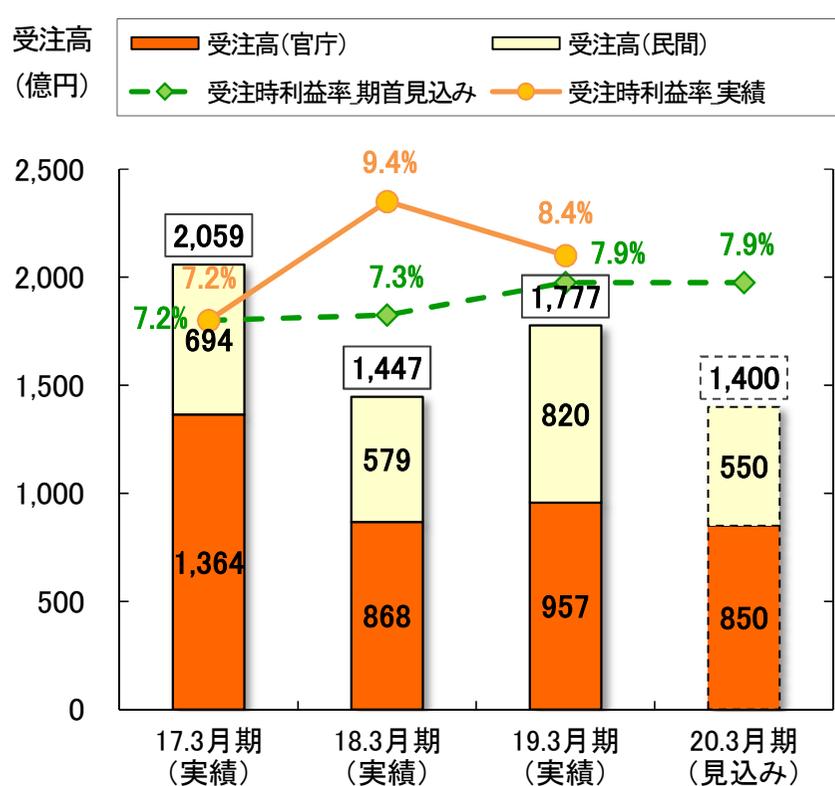
海外



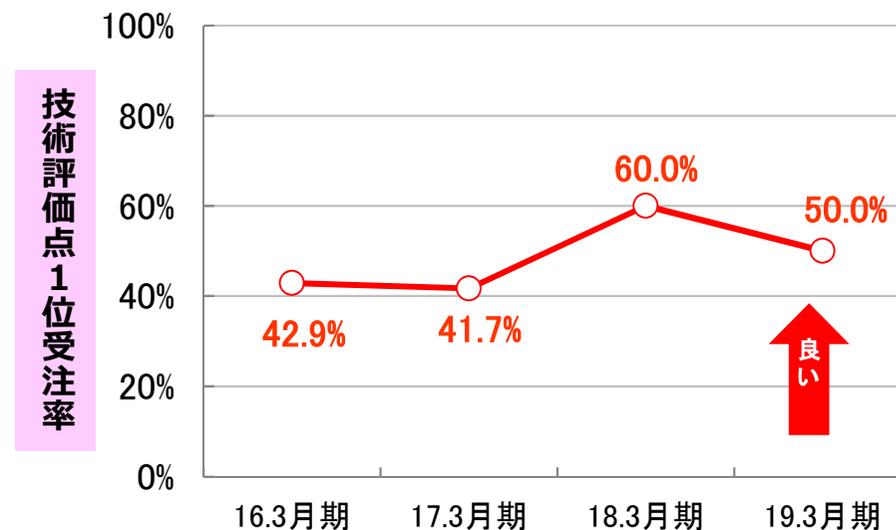
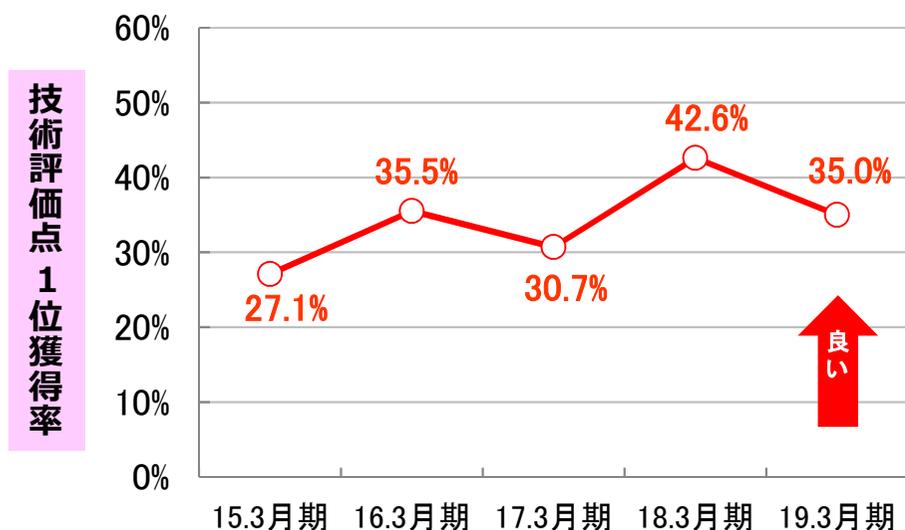
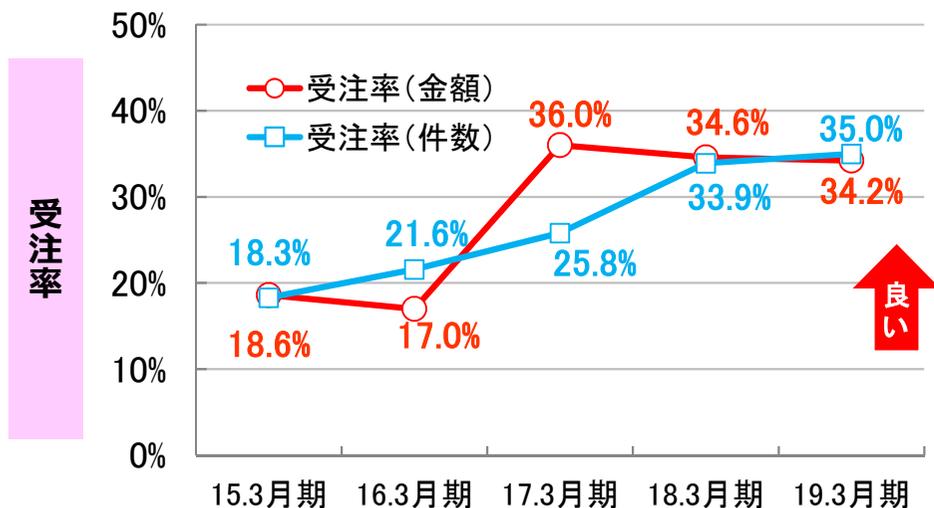
【国内】 ■官民共に大型工事の受注が大きく寄与。受注時利益率も目標値を上回る（19.3月期）
 ■前期同様に施工体制並びに採算性を考慮し、計画的な応札を実施（20.3月期）
 【海外】 ■営業エリア内の案件数の減少及び価格競争の激化により、新規案件応札も失注
 ■将来の市場変化を踏まえ、営業エリア内での計画的応札（19.3月期）
 地元企業の発掘・育成・連携を図る（20.3月期）

国内

海外



- 受注率(件数)は6期連続で向上傾向にあり、金額ベースの受注率も高水準を維持
- 段階選抜方式の増加により評価点1位獲得者数は減少。当社においても評価点1位獲得率が低下しているが、上位は維持しており、受注圏内のポジションを保っている



インフラ運営事業（脱請負）

連結利益への貢献		2017.3期 (実績)	2018.3期 (実績)	2019.3期 (実績)
		22億円	46億円	62億円
内 訳	連結子会社の営業利益 (愛知道路C,五葉山太陽光等)	19	39	38
	単体業績貢献 (O&M,EPC,開発等業務委託利益等)	2	7	13
	その他収益 ※	1	0	11

※ その他収益には売却益、非連結SPC株式配当等を含む

事業区分	場所	規模 (AC)	FIT 価格	総事業費	内容
太陽光	茨城県、つくば	2MW	40円	約6億円	2013年3月完成
	岩手県、大船渡	18MW	40円	約64億円	2015年8月完成
	茨城県、北茨城	6.5MW	36円	約21億円	2016年3月売却
	山口県、美祢	7MW	40円	約28億円	2017年8月完成
	山梨県、甲斐	18MW	36円	約70億円	施工中 (建設中売却)
陸上風力	青森県、六ヶ所	20MW	22円	約113億円	2016年6月売却
	秋田県、八峰	20MW	22円	約72億円	2019年1月完成
計		91.5MW		約370億円	

洋上風力	山口県、下関安岡	60MW	—	約350億円	事業開発中
バイオマス	愛媛県、大洲	50 MW	—	約280億円	事業開発中
小水力	福島県、楢葉	(検討中)	—	(検討中)	事業開発中 (公募：優先交渉権)
計		200.5MW		約1,000億円	



2019年2月1日より運転開始

- ・2019年1月31日 竣工
- ・2019年4月25日 開所式

固定価格買取制度（FIT）を利用して20年間運営する予定です。年間発電量は約12,000世帯分に相当します。

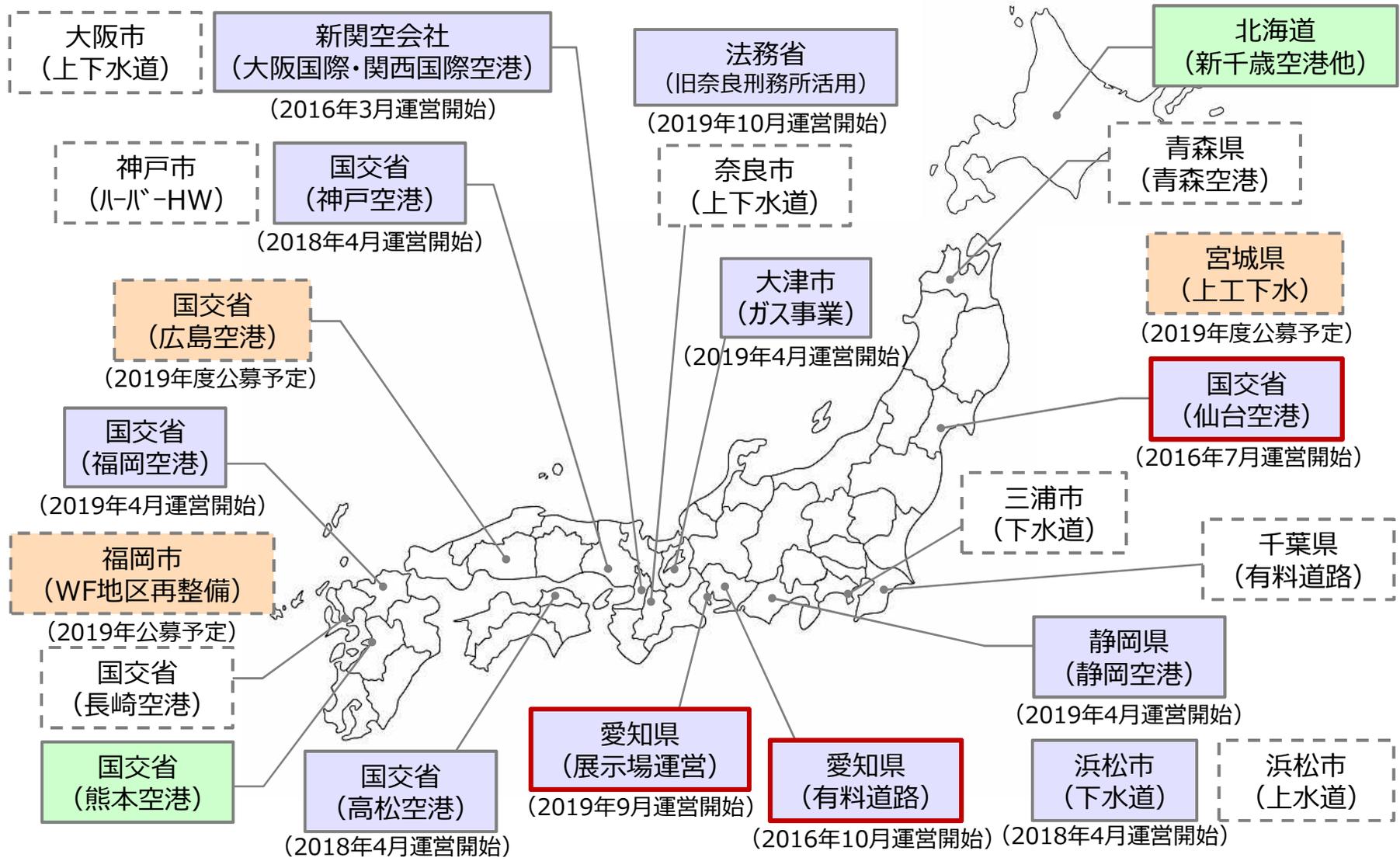


【発電所概要】

所在地	秋田県山本郡八峰町
発電規模	19,950 kW（3,200 kW×7基）
売電価格	22 円/kWh（税抜）
工事期間	2017年 6月～2019年 1月
施工者	前田建設工業株式会社 東北支店

<凡例>

 : 運営中	 : 公募予定	 : 公募中
 : 運営中 (前田建設が構成会社)	 : 公募予定 (検討中)	



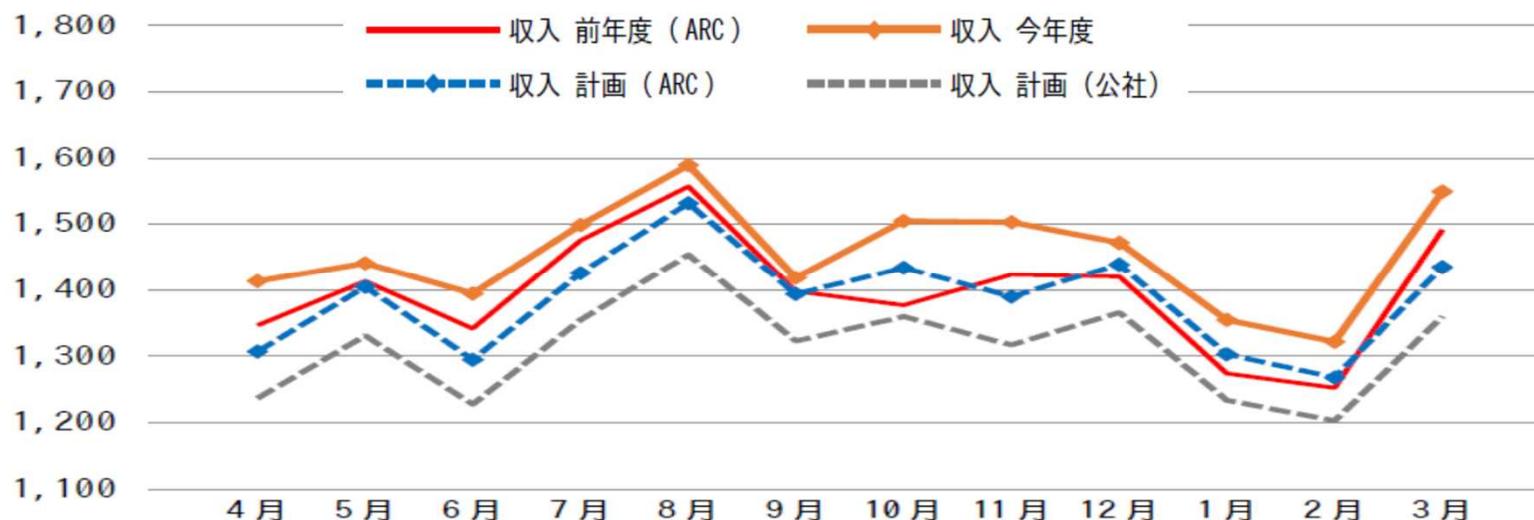
2018年10月1日 道路事業運営開始2周年

■ 業績

	売上高	営業利益
2017.3月期 (半期)	75.1億	18.2億
2018.3月期	156.6億	36.3億
2019.3月期	163.3億	32.9億
累計		87.4億



■ 18年度の料金収入推移



■ 社会インフラ運営管理の課題解決への取り組み 【愛知アクセラレートフィールド】

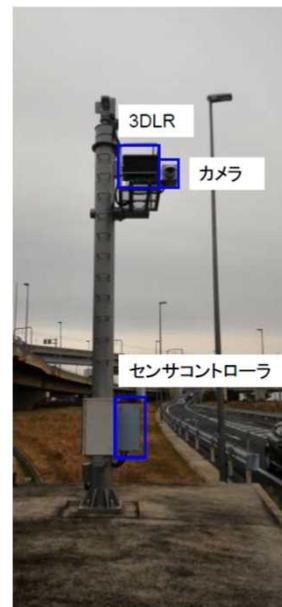
愛知県有料道路運営等事業における新技術実証のしくみ

社会インフラの運営・維持管理上の課題に対し、新技術のマッチングを行い、供用環境にある実際のインフラ施設を活用して技術実証を行いながら解決を図る

- ・応募件数31件
(応募団体数26団体)
- ・完了:3件
- ・実施中:7件
- ・実施予定:1件

※2019年3月末現在

募集テーマ	ステータス
No.1: 橋梁損傷の数値化	募集終了
No.2: 乗り心地、路面安全性改善	募集終了
No.3: 歩行者侵入・逆走対策	募集終了
No.4: 維持管理CIM	5月公募
No.5: 低コスト遠隔モニタリング	7月公募予定
No.6: 計画中	9月公募予定
No.7: 計画中	11月公募予定



↑ 大高料金所での軸重、軸数同時計測機器設置状況

← セントレア東出口での逆走車両、歩行者進入検知装置設置状況

■ ISO 55001 アセットマネジメントシステムを道路コンセッション事業で認証取得

道路コンセッション事業におけるインフラマネジメントをシステム化

当社の連結子会社である愛知道路コンセッション(株) (本社: 愛知県半田市) は、2019年3月26日にアセットマネジメントシステムの国際規格であるISO 55001の認証を取得しました。

アセットマネジメントシステムISO 55001は、現場レベルでのPDCAに加えて、組織全体の目標から資産 (社会インフラ: エネルギー、水、交通、通信など、及びファシリティ: 住宅、建物、学校、病院、市役所、プラントなど) 管理の目標・計画・実施からその評価・改善に至る組織全体のPDCAサイクル、及びそのサイクルを上手に回転させるための支援の仕組みを含めたシステム全体をまとめた国際規格です。

登録番号 : AS18J0005

組織の名称 : 愛知道路コンセッション株式会社 道路運用部

適用規格 : ISO 55001:2014 (JIS Q 55001:2017)

登録範囲 : コンセッション方式による知多半島道路、南知多道路、知多横断道路、中部国際空港連絡道路の事業運営における橋梁、函渠、トンネル、舗装を対象としたアセットマネジメント

登録日 : 2019年3月26日 認証機関 : 株式会社日本環境認証機構 (JACO)

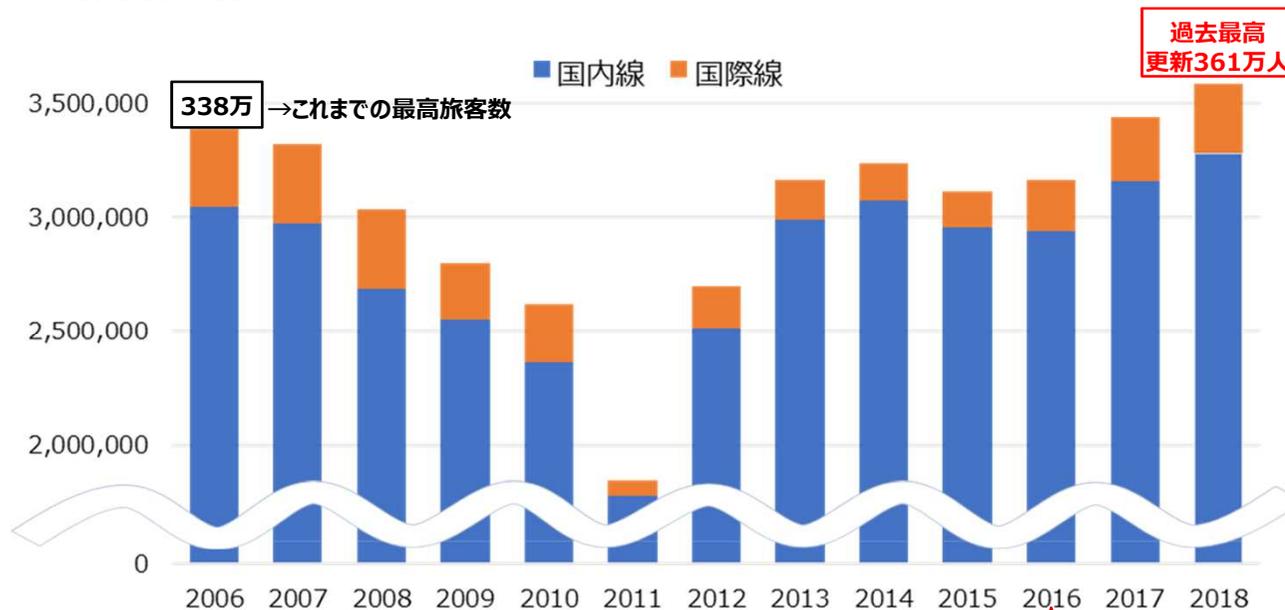


登録証授与式の様子

(左) ㈱日本環境認証機構 代表取締役社長 立上 和男 様

(右) 愛知道路コンセッション(株) 代表取締役社長 東山 基

■旅客数 推移 2018年7月1日 運営開始2周年



過去最高
更新361万人

2018年10月28日
「ピア棟」オープン

- ・搭乗ゲート数
9か所→13か所へ
- ・新規就航や増便に対応可能
- ・今後の旅客増に対応可能

今期の新規就航・増便

- ・エバー航空：増便、機材大型化
- ・JAL、ANA：増便

■旅客数および貨物量 目標

	2017年度 実績値	2018年度 速報値	2020年度 目標値	2044年度 目標値
旅客数	343万人	361万人	410万人	550万人
国内	315万人	330万人	362万人	435万人
国際	28万人	31万人	48万人	115万人
貨物量	0.7万t	0.7万t	1.0万t	2.5万t

スケジュール

- 2016年 2月 ビル事業運営事業開始
- 7月 空港事業運営開始
- 2017年 7月 1階リニューアルオープン
(施工：前田建設 東北支店)
- 2018年10月 ピア棟オープン
(施工：前田建設 東北支店)
- 2019年4月 出発エリアリニューアル
計画技術協力業務受注
(受託者：前田建設 東北支店)



2019年8月30日 オープン

・8月30日 開業日、開業式典

・31日、9月1日

オープニングイベント

アジア競技大会でも取り上げられるなど成長著しいeスポーツを中心としたイベントを開催予定

代表企業：GL events SA

構成企業：前田建設工業

2018年1月 基本協定書の締結

2018年4月 実施契約の締結・公表

2018年9月 愛称決定“Aichi Sky Expo”

2019年8月 運営権の設定・公表

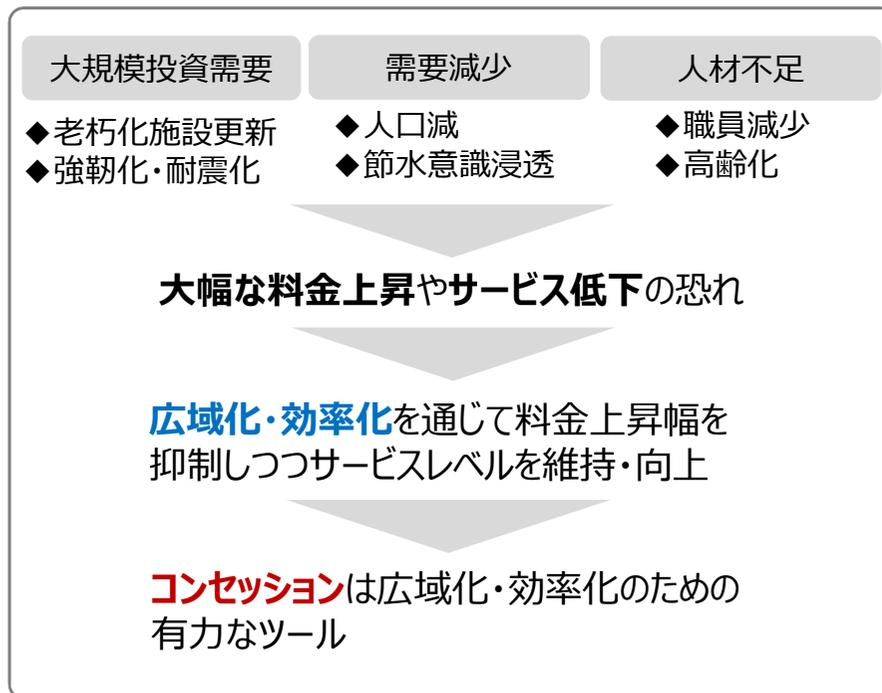


(出所：愛知県ホームページ)

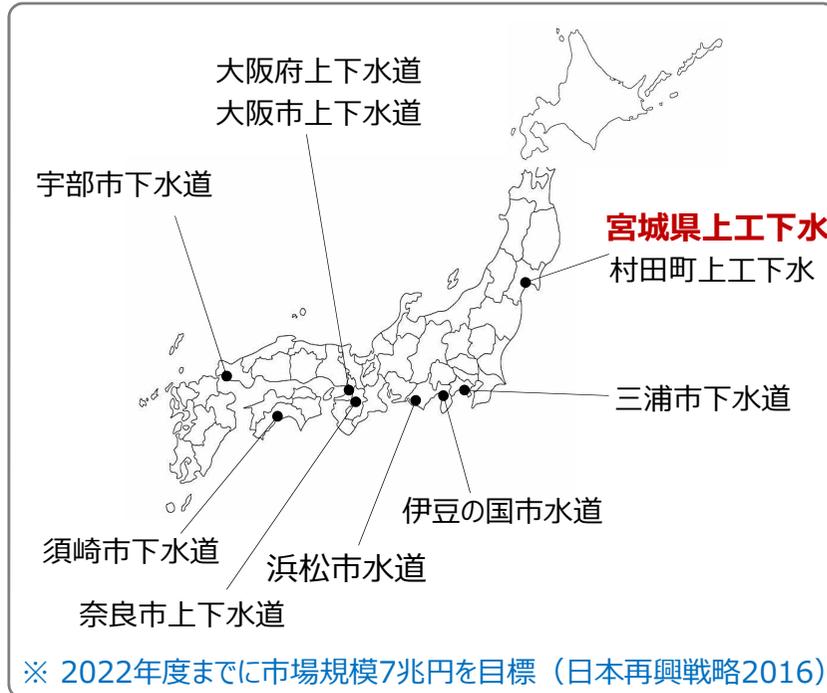


ロゴマーク

■ 水道事業の官民連携が進行する背景



■ 今後実施が見込まれる水道コンセッション案件



2018年12月6日 改正水道法成立をうけての動向

宮城県では水道3事業の包括的な運営権委託に向けて、みやぎ型管理運営方式公共施設等運営権設定を目指している。

【スケジュール（予定）】

2019年夏 実施方針条例案公表予定

2020年冬 事業者公募

2021年度上期 運営権設定

2021年度中 運営開始

トピックス

Topics

● 事務所

工事名

(仮称) 天神ビジネスセンター新築工事

発注者 : 福岡地所株式会社

構造規模 : S造、地下2階/地上19階
延床面積 61,000㎡

工期 : 2019年1月~2021年9月



● 工場

35

工事名

フジカイ新事務所建設工事

発注者 : 株式会社フジカイ

構造規模 : S造 (一部RC造)
【事務所棟】地上6階 他2棟
延床面積 36,702㎡

工期 : 2019年6月~2020年9月



● 教育施設

工事名

区立上板橋第二中学校統合改築工事

発注者 : 板橋区

構造規模 : RC造、地上5階
延床面積 9,611m²

工期 : 2019年3月～2022年1月



● 文化施設

工事名

福岡市第2期展示場等整備事業 (第2期展示場)

発注者 : 福岡にきてんPFI

構造規模 : S造、地上2階
延床面積 10,282m²

工期 : 2019年10月～2021年2月



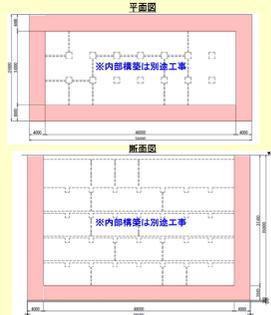
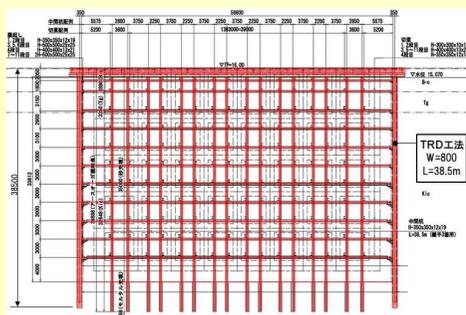
● 道路（換気所地下構造物）

工事名

東京外かく環状道路 東名ジャンクション 換気所地下工事

発注者 : 中日本高速道路株式会社
 施工場所 : 東京都世田谷区
 工事概要 : 換気所地下構造物
 コンクリート工24,000m²、鉄筋工4,300t
 型枠10,000m²、掘削土量53,146m³
 地中連続壁工(TRD工法) L=38.5m

工期 : 2018年12月～2021年3月

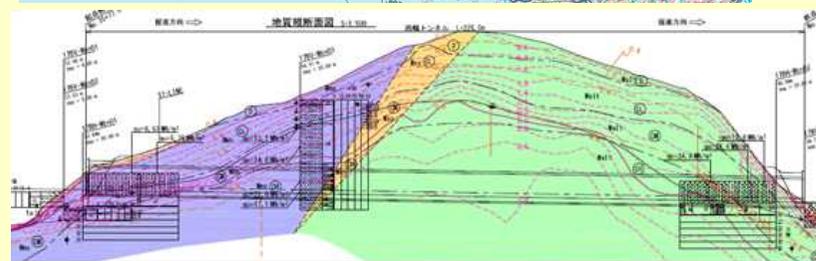


● 道路トンネル（NATM）

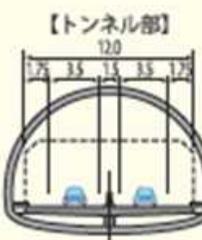
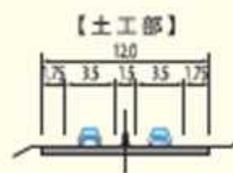
工事名

すさみ串本道路雨嶋トンネル工事

発注者 : 近畿地方整備局
 施工場所 : 和歌山県東牟婁郡串本町
 工事概要 : 工事延長L=237.3m NATM工法
 代表内空断面積91m²
 工期 : 2019年3月～2020年7月
 ※ 新技術導入Ⅱ型入札方式



標準断面図 [単位:m]



【お問い合わせ先】

前田建設工業株式会社

総合企画部長 坂口 伸也

TEL : 03-5276-5131

FAX : 03-5276-5204

e-mail : sakaguchi.s@jcity.maeda.co.jp

この資料には、2019年5月14日現在の将来に関する見通し、及び計画に基づく予測が含まれており、確約や保証を与えるものではありません。
経済情勢の変動等の様々な要因により、見通し予測等が実際の業績と異なる可能性がある点を認識された上で、ご活用下さい。
